

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	(14) 東京都台東区立特別養護老人ホーム浅草	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-26-2 [規模] 延べ床面積 4,588.35㎡のうち4,188.35㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 駐車場、ボランティア室、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、医務室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助[食事、介護（排泄・入浴援助）]、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅で介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 44名（内訳）施設長（1）、事務員（常勤3、非常勤1）、相談員（3）、介護職員（常勤28、非常勤2）、看護職員（5）、栄養士（1）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	47,501,000	47,501,000	91,703,112	91,703,112
	利用料金収入	358,270,000	349,539,556	316,519,000	318,059,022
	その他収入（利用者等外給食費収入）	13,282,000	7,800,521	10,778,888	8,811,883
	計	419,053,000	404,841,077	419,001,000	418,574,017
支出	人件費	281,472,000	289,094,268	275,143,000	294,004,727
	光熱水費	24,120,000	26,120,028	29,011,000	22,512,899
	維持管理費（委託料・賃借料）	44,221,000	43,067,620	44,515,000	40,131,069
	修繕費	3,128,000	1,772,458	2,912,000	3,685,499
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	66,112,000	56,047,238	67,420,000	70,739,841
	計	419,053,000	416,101,612	419,001,000	431,074,035
収支			-11,260,535		-12,500,018

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	84	84	84	84

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率（特養＋ショート）	%	96	95.6	97.1	88.6
利用者数（特養＋ショート）	人	29,500	29,307	29,848	27,154

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況	
サービスに支障が無い範囲で、節電対策に取り組み、光熱水費を前年比で14パーセント節減するなど収支の効率化を図ったが、空調工事のための利用者数減による減収などにより、前年に続きマイナス収支となった。	

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	各関係法令・通知を確認し、法令遵守している。事業計画書・事業報告書等の必要書類の区への提出を適切に行った。地元町会と災害時応援協定を結び、年2回合同訓練を行うなど、危機管理対応に努めた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	基準配置以上の人員を配置し、介護福祉士等の有資格者も多い。業務に必要な研修を計画的に実施するなど職員の育成を図っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常的な清掃においては、季節により清掃方法を変え、感染症対策委員会を毎月開催する等、感染症等の発生及びまん延防止に努めている。施設の定期的巡視をし、危険個所の把握に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	「施設を利用して良かったですか」との問いに、大変満足、満足を合計して92%の回答があり、施設としてサービス向上に取り組む、利用者からも高い評価を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	空調設備の全面改修工事のため居室を開ける必要があり、利用者数減少により収入が減少した。また、人件費の支出が増えたこと等により、収支はマイナスとなった。

(6) 優れた取組み	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
《加点項目》 <small>※点数上限：10点</small>	
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (95 / 110点)	【所見】 利用者満足度調査の結果では高い満足度が示され、感謝の言葉が多くよせられるなど良好なサービス提供が行われた。引き続きサービスの向上に取り組むとともに利用者数の増を図る。また、収支改善のため、効率的な予算執行に努める。
	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 事業の運営について、空調工事の影響や、入院者、退去者の増などにより、利用者数が目標を下回った。 収支状況について、利用料収入の減や人件費の増等により収支がマイナスとなった。